



平成26年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年8月7日

上場取引所 東名

上場会社名 ホシザキ電機株式会社
コード番号 6465 URL <http://www.hoshizaki.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 坂本 精志
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 本郷 正己

TEL 0562-96-1320

四半期報告書提出予定日 平成26年8月8日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年12月期第2四半期の連結業績(平成26年1月1日～平成26年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年12月期第2四半期	117,500	16.8	15,275	45.1	14,610	5.2	8,819	10.6
25年12月期第2四半期	100,562	11.9	10,524	16.0	13,883	58.1	7,975	58.4

(注) 包括利益 26年12月期第2四半期 8,139百万円 (△29.0%) 25年12月期第2四半期 11,468百万円 (117.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年12月期第2四半期	122.03	121.80
25年12月期第2四半期	110.48	110.23

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年12月期第2四半期	249,916	152,213	60.3	2,083.53
25年12月期	232,982	146,930	62.4	2,012.90

(参考) 自己資本 26年12月期第2四半期 150,619百万円 25年12月期 145,457百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年12月期	—	0.00	—	40.00	40.00
26年12月期	—	0.00	—	—	—
26年12月期(予想)	—	—	—	40.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年12月期の連結業績予想(平成26年1月1日～平成26年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	228,500	11.2	25,500	27.2	25,100	△4.7	14,400	△8.7	199.21

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
詳細につきましては、[添付資料]P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年12月期2Q	72,291,250 株	25年12月期	72,263,250 株
② 期末自己株式数	26年12月期2Q	626 株	25年12月期	578 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年12月期2Q	72,272,359 株	25年12月期2Q	72,193,552 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

平成26年7月28日発表の通期業績予想に関する変更はございません。なお、業績予想は当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。詳細につきましては、[添付資料]P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における国内の経済環境は、経済対策、金融政策の実施等により、段階的な景気回復基調が続いております。

海外におきましては、米国において景気は回復してきており、欧州においても景気は全体として持ち直しております。新興国においては経済成長鈍化等依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

当社グループを取り巻く環境におきましては、国内及び米国を中心に、主要販売先であるフードサービス産業において、景気回復等により、設備投資が好調に推移いたしました。さらに、国内においては消費税率引上げに伴う駆け込み需要も追い風となりました。一方、その反動減を危惧しておりましたが、増税後の影響については、当初想定よりも限定的でありました。

このような環境のなか、当社グループは引き続き、国内では、フードサービス産業への積極的な拡販と新規顧客の継続的な開拓に取り組みました。海外では、主力製品の拡販に努めました。その一方で、原価低減に加えITを活用した業務の効率化や生産性の向上に努め、利益の確保にグループをあげて取り組みました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高1,175億円（前年同期比16.8%増）、営業利益152億75百万円（同45.1%増）、経常利益は、為替差損10億6百万円の計上等により146億10百万円（同5.2%増）となりました。また、四半期純利益は、88億19百万円（同10.6%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①日本

日本におきましては、業務用冷蔵庫や製氷機、食器洗浄機等の拡販、その他の新規顧客への積極的な営業活動を展開してまいりました。その結果、売上高は842億74百万円（前年同期比10.3%増）、セグメント利益は116億2百万円（同25.8%増）となりました。

②米州

米州におきましては、製氷機や業務用冷蔵庫の拡販を推進いたしました。また、昨年買収いたしましたAcos Macom Indústria e Comércio Ltda.等の寄与もあり、売上高は247億39百万円（前年同期比28.6%増）、セグメント利益は42億66百万円（同58.9%増）となりました。

③欧州・アジア

欧州・アジアにおきましては、主力製品の積極的な拡販に努めてまいりました。また、昨年買収いたしましたWestern Refrigeration Private Limited等の寄与もあり、売上高は114億93百万円（前年同期比51.7%増）、セグメント利益は8億77百万円（同113.4%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ169億33百万円増加し、2,499億16百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ190億60百万円増加し、1,795億30百万円となりました。主な要因は、商品及び製品が減少しましたが、現金及び預金、受取手形及び売掛金の増加によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ21億27百万円減少し、703億85百万円となりました。主な要因は、有形固定資産が増加しましたが、のれん、投資その他の資産の減少によるものであります。

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ116億50百万円増加し、977億2百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ116億42百万円増加し、775億50百万円となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金、未払法人税等、賞与引当金の増加によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ8百万円増加し、201億52百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べ52億82百万円増加し、1,522億13百万円となりました。主な要因は、為替換算調整勘定が減少しましたが、利益剰余金、少数株主持分の増加によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年12月期の連結業績予想につきましては、平成26年7月28日に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」から変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
重要性が乏しいため、記載を省略しております。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	109,745	116,843
受取手形及び売掛金	21,518	30,547
有価証券	2,701	2,700
商品及び製品	10,213	9,354
仕掛品	2,768	3,027
原材料及び貯蔵品	7,402	7,845
その他	6,221	9,342
貸倒引当金	△102	△131
流動資産合計	160,469	179,530
固定資産		
有形固定資産	41,496	41,653
無形固定資産		
のれん	11,789	10,816
その他	9,172	8,287
無形固定資産合計	20,961	19,103
投資その他の資産	10,054	9,628
固定資産合計	72,513	70,385
資産合計	232,982	249,916
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,922	15,137
未払法人税等	5,352	7,129
賞与引当金	2,632	3,517
その他の引当金	1,051	1,007
その他	43,950	50,759
流動負債合計	65,908	77,550
固定負債		
退職給付引当金	13,779	13,942
その他の引当金	944	837
その他	5,420	5,372
固定負債合計	20,144	20,152
負債合計	86,052	97,702

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,901	7,918
資本剰余金	14,423	14,440
利益剰余金	122,884	128,813
自己株式	△0	△1
株主資本合計	145,208	151,171
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	146	169
為替換算調整勘定	102	△721
その他の包括利益累計額合計	249	△551
少数株主持分	1,472	1,593
純資産合計	146,930	152,213
負債純資産合計	232,982	249,916

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)
売上高	100,562	117,500
売上原価	60,760	70,943
売上総利益	39,801	46,556
販売費及び一般管理費	29,276	31,281
営業利益	10,524	15,275
営業外収益		
受取利息	199	196
受取配当金	7	8
為替差益	2,839	—
その他	418	268
営業外収益合計	3,465	473
営業外費用		
支払利息	25	84
為替差損	—	1,006
その他	80	47
営業外費用合計	106	1,138
経常利益	13,883	14,610
特別利益		
固定資産売却益	2	5
特別利益合計	2	5
特別損失		
固定資産売却損	10	31
減損損失	—	61
その他	18	17
特別損失合計	28	110
税金等調整前四半期純利益	13,857	14,504
法人税、住民税及び事業税	8,819	8,611
法人税等調整額	△2,949	△2,955
法人税等合計	5,869	5,656
少数株主損益調整前四半期純利益	7,987	8,848
少数株主利益	11	28
四半期純利益	7,975	8,819

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	7,987	8,848
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	173	22
為替換算調整勘定	3,307	△731
その他の包括利益合計	3,480	△708
四半期包括利益	11,468	8,139
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	11,418	8,018
少数株主に係る四半期包括利益	49	120

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	13,857	14,504
減価償却費	2,327	2,622
のれん償却額	1,542	1,115
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	209	162
賞与引当金の増減額 (△は減少)	694	891
受取利息及び受取配当金	△207	△205
為替差損益 (△は益)	△2,213	933
売上債権の増減額 (△は増加)	△6,221	△9,219
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,329	2,285
未払金の増減額 (△は減少)	△572	△861
未払費用の増減額 (△は減少)	5,970	6,544
前受金の増減額 (△は減少)	176	347
未払消費税等の増減額 (△は減少)	30	527
その他	100	46
小計	17,023	19,695
利息及び配当金の受取額	231	205
利息の支払額	△26	△85
法人税等の支払額	△6,163	△6,778
営業活動によるキャッシュ・フロー	11,065	13,036
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△39,794	△71,827
定期預金の払戻による収入	52,919	56,318
有価証券の純増減額 (△は増加)	△92	—
有形固定資産の取得による支出	△1,134	△2,254
無形固定資産の取得による支出	△190	△71
投資有価証券の取得による支出	△2,715	△1,000
投資有価証券の償還による収入	1,800	500
信託受益権の純増減額 (△は増加)	△105	△145
長期前払費用の取得による支出	△36	△56
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△2,667	—
事業譲受による支出	△3,824	—
その他	115	14
投資活動によるキャッシュ・フロー	4,273	△18,522
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	260	367
リース債務の返済による支出	△17	△20
配当金の支払額	△2,164	△2,889
ストックオプションの行使による収入	40	34
少数株主からの払込みによる収入	125	—
その他	△14	△3
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,770	△2,511
現金及び現金同等物に係る換算差額	2,314	△255
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	15,882	△8,253
現金及び現金同等物の期首残高	36,498	52,710
現金及び現金同等物の四半期末残高	52,381	44,456

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成25年1月1日至平成25年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	米州	欧州・アジア	計		
売上高						
外部顧客への売上高	74,609	18,882	7,070	100,562	—	100,562
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,762	356	505	2,624	△2,624	—
計	76,372	19,238	7,575	103,186	△2,624	100,562
セグメント利益	9,222	2,685	411	12,319	△1,794	10,524

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,794百万円には、のれんの償却額△1,483百万円、無形固定資産等の償却額△240百万円、棚卸資産の調整額△178百万円、その他セグメント間取引の調整等108百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成26年1月1日至平成26年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	米州	欧州・アジア	計		
売上高						
外部顧客への売上高	82,523	24,383	10,593	117,500	—	117,500
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,751	356	899	3,007	△3,007	—
計	84,274	24,739	11,493	120,507	△3,007	117,500
セグメント利益	11,602	4,266	877	16,747	△1,471	15,275

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,471百万円には、のれんの償却額△1,051百万円、無形固定資産等の償却額△370百万円、棚卸資産の調整額△15百万円、その他セグメント間取引の調整等△34百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。